

## 「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号：

<b>企画名</b>
全日本学生フォーミュラ大会への道
<b>実施日</b>
平成 28年 9月 6日(火)～平成 28年 9月 10日(土)
<b>実施場所</b>
小笠山総合運動公園 ECOPA
<b>企画代表者の氏名, 所属</b>
氏名: 福永 浩希 所属: 工学部第一類
<b>構成員の氏名</b>
松田 孝太, 米岡 拓留, 竹本 直矢, 富田 海, 飛永 健斗, 西垣 祐作, 谷口 果奈, 丸野 倫寛, 萩野 雄介, 櫛田 直輝, 小島 祐人, 高谷 駿介, 宮崎 亮輔, 玉城 史彬, 増田 啓司, 古株 拓弥, 松田 隆太郎
<b>指導的立場の教員氏名</b>
西田 恵哉, 難波 慎一, 濱崎 洋
<b>企画の目的及び内容</b>
学生が主体となってフォーミュラカーの構想・設計・製作・走行および性能評価などを行う活動を通し、学生のものづくりの総合力が培われます。また、この経験により自動車技術ならびに産業の発展・振興に関する人材が育成されることが期待されます。企画内容は、上記にあるように、1年をかけてフォーミュラカーを製作し、全国大会に出場します。大会では車両性能だけでなく、製造コストや販売戦略なども審査されます。
<b>来場者数</b>
15,000(延べ)
<b>主催・後援団体(外部のコンテスト等に参加する場合は、そのコンテストの規模)</b>
規模としては、海外を含む約100の大学が大会に参加し、TOYOTA, MAZDAなどの自動車メーカーを中心とした約200の企業が主催・後援企業として参加しており、自動車技術会が大会を運営しております。
<b>活動の内容(準備, 広報活動, 当日の様子等)</b>
大会に向け、昨年10月から車両の設計を開始し、広島大学の学校工場を始め、協賛していただいた企業の方やFAの先生の協力のもと車両を製作いたしました。大会前には大学内の駐車場で走行練習をさせていただき、大会の準備を進めました。 大会初日は、製作した車両がルールに則っているか、安全であるかなどを審査される技術車検がありました。特に大きな問題もなく、当日中に車検を通過することができました。 大会2日目は、初日とは異なる車検と、静的審査と呼ばれる車両の設計に関する審査、コストに関する審査、販売戦略に関する審査が行われました。いくつかトラブルが発生しましたが、最終的には無事車検を通過することができ、翌日の動的審査に向け準備しました。 大会3日目は台風の影響もあり、車両の動的エリア(走行会場)への運搬が難航し、午前中に出場する必要があった2つの競技のうち、片方しか出場することができませんでした。午後からの競技も、出走直前に雨が降ったことが影響し、最終競技に出走することができるボーダーラインに届かず、残念な結果となってしまいました。 競技終了後は、他大学の方や企業の方と交流し、有意義なお話も伺うことができ、来年以降の糧にして参りたいと思いました。

(裏面に続く)

# 「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書 (裏面)

## アンケートの結果 (来場者にアンケートを実施した場合のみ)

### 成果・課題

活動の内容の部分でも記載させていただきましたが、全競技を完走することができず、順位も昨年度より低い、51位という結果となってしまいました。今年度の大会では雨に悩まされ、思っていたようなタイムを残すことができなかったことが、順位が下がった原因の一つだと考えております。これまでは、雨天での走行練習を実施したことがなく、またそのような状況に応じた車両の調整も十分に行えませんでした。来年度は様々な状況に対応できるようなチーム運営や作戦を考え、今年のような悪天候にも対応していきたいと思っております。また、静的審査において、コスト審査は14位、販売戦略のプレゼンテーション審査は38位、設計に関するデザイン審査が67位と、コスト審査以外の2つの順位が特に低く、順位にも影響しております。大会後に審査員の方に伺った助言をもとに、高い順位を狙えるよう活動してまいります。

### 実施風景 (写真)



【提出方法】指定された期限までに本紙を作成の上、電子ファイルで提出してください。

E-mailでも受け付けます。

【提出先】工学部学生支援室 (kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp)